

# 入間市内小・中学校におけるPTAの現状と今後のあり方について

令和4年12月23日（金）

## 1 PTAに関する全国の動向

これまでもPTAへの自動的な入会や望まない役員を引き受けなくてはならないことへ疑問の声があったが、共働き世帯の増加、価値観の多様化、ひとり親家庭の増加等により、組織へ加入しないあるいは退会するといったケースが出てきている。

## 2 入間市のPTAの現状

- (1) 入間市PTA連合会は、市内公立小・中学校の全PTAが加入している。
- (2) 入間市PTA連合会では、会議等で、国や県からの円滑なPTA運営に関する資料等を配付し、PTAは任意団体である旨を説明している。

## 3 今回実施した調査を受けて

- (1) 市内全27校のうち10校には、PTA非加入家庭が存在している。
- (2) PTA入会申込書を用いて、加入手続きを行っている学校は2校である。  
(豊岡小学校、豊岡中学校)

⇒豊岡小学校、豊岡中学校の取組は、令和4年度から始めている。

そのため、令和4年度のPTA非加入家庭が一定数存在する。

- ・入会申込書の提出は、PTA加入・非加入の意思を他の保護者に知られることなく、PTA役員へ伝えることができることから、個々の保護者が非加入の意思表示をしやすくなったものと考えられる。
- ・入会申込書を用いているPTAは未だ少なく、多くのPTAでは加入・非加入の意思表示する手段が曖昧なため、非加入家庭は少数に留まっているものと考えられる。

## 4 市（教育委員会）の考え方

- (1) 今後もPTAが円滑に運営していくには、任意団体であることを保護者ひとり一人が理解した上に組織が成り立つことが不可欠である。市（教育委員会）・学校・PTAが連携し、その周知に努めていく必要がある。
- (2) PTA活動の可視化を図ることで、保護者への理解を促し、同時に教育に対する当事者意識を高めていくことが重要である。
- (3) 学校とPTAが令和5年度から導入するコミュニティ・スクール、地域学校協働活動の内容を理解し、相互に活動をサポートする環境をつくりながら、より良い学校運営に向けて取り組むことが望まれる。

# 令和4年度 PTA等の実態調査結果

資料2

学校名			PTA							
			家庭数 総数	PTAに加入している 家庭数	PTAに加入して いない家庭数	PTAに加入し ていない家庭 数 (R3年度)	任意加入である旨の説明の 有無		PTA加入同意書の 有無	
							説明している	説明していない	有	無
豊岡	小学校		265	232	33		○		○	
黒須	小学校		356	356			○			○
扇	小学校		599	599			○			○
東金子	小学校		235	234	1		○			○
金子	小学校		269	269				○		○
宮寺	小学校		169	168	1		○			○
藤沢	小学校		320	320			○			○
藤沢南	小学校		311	310	1		○			○
狭山	小学校		283	283			○			○
西武	小学校		522	520	2	1	○			○
藤沢東	小学校		437	437			○			○
藤沢北	小学校		510	509	1		○			○
仏子	小学校		200	200		1	○			○
新久	小学校		178	178			○			○
東町	小学校		373	373			○			○
高倉	小学校		193	192	1	1		○		○
豊岡	中学校		257	210	47		○		○	
金子	中学校		181	181			○			○
武蔵	中学校		291	291			○			○
藤沢	中学校		544	543	1		○			○
西武	中学校		134	133	1		○			○
向原	中学校		440	440		1	○			○
黒須	中学校		241	241			○			○
東金子	中学校		275	275		1	○			○
上藤沢	中学校		415	415			○			○
東町	中学校		191	191			○			○
野田	中学校		323	323			○			○
			8,512	8,423	89	5	25	2	2	25